



スマホで見れます

手術のきずあとに肌色テープケア



「きずあとをきれいに治すにはどうするの？」

- 手術後、通常は1～2週で抜糸をします。しかし、抜糸後もきずあとは、刻々と修復作業を続けています。
- **修復作業は術後3ヶ月以内が特に活発**であり、この時期に、きずあとが開く方向に引っぱられたり、擦れて刺激が加わったりすると、きずあとが赤く、固く、幅が広がり、盛り上がりやすくなります。
- また赤みのあるきずあとは、**紫外線 (UV)** を吸収すると黒ずみやすくなります。
- 盛り上がったきずあとのことを、「**肥厚性瘢痕 (ひこうせいはんこん)**」と呼びます。



「サージカルテープ (肌色テープ) って何？」

- 抜糸後のきずあとに**サージカルテープ (=肌色テープ)** を貼ると、この肥厚性瘢痕を予防し、きずあとをきれいに治すことができます。

【きずあとにテープを貼る目的】

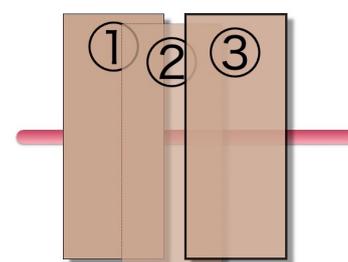
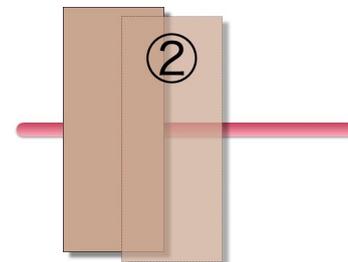
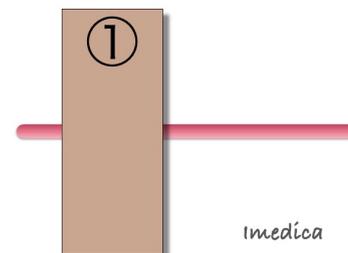
- ① きずあとにかかる皮膚の張力を減らすことができます。
- ② きずあとの擦れを予防します。
- ③ 紫外線をブロックします。



【サージカルテープの種類】

- 右の写真はニチバンのサージカルテープ・ハダです。
幅が、細いもの（12mm）、太いもの（25mm）があり、
きずあとの大きさにあわせて使い分けます。

※顔や指は細いもの、それ以外は太いものが使いやすいです。



【サージカルテープの貼り方】

- 右図のように、きずあとにたいして垂直に重ね張りします。

【貼付後の管理】

- 普段は湯船につけても大丈夫です。タオルでふくとすぐに乾きます。
- 通常は 2～3 日ごとにテープの張り替えをします。かゆみがかたり、周囲が剥がれてくるようなら早めに交換しても OK です。
- その際、いきなりテープを剥がすのではなく、泡石鹸でふやかしながら剥がすと、きずあとと周囲の皮膚にやさしいです。



【貼付期間】

- きずあとの修復作業が活発な術後 1～3 ヶ月以内はテープの貼付をおすすめします。
- テープかぶれをする場合は、2～3 日貼付を休んでから再開するとよいです。
- それでもかぶれてしまう場合は主治医に相談しましょう。